

国際学院新聞

第53号

編集発行 国際学院
学校法人
〒330-8548 さいたま市大宮区吉敷町2-5
TEL 048(641)7468
FAX 048(641)7432
インターネットホームページアドレス
http://www.kgef.ac.jp/ksjc

主なニュース

- オーストラリア、カナダ、国内研修..... 2面
- 短期大学学生会活動報告、クラブ紹介..... 3面
- 調理師専門学校活動報告..... 4面
- 高等学校活動報告..... 5面
- 味彩コンテスト、幼児絵画展..... 6面
- 五峯祭、体育大会、オリエンテーション報告..... 7面
- ベストブック、がんばってます..... 8面

大野誠 理事長・学院長並びに大野敦子 副学院長 文部科学大臣表彰 (短期大学教育功労者)を受賞

日本私立短期大学協会創立60周年記念式典
216名の受賞者総代は大野誠理事長・学院長



笠政務官より表彰状を授与される大野理事長・学院長

学校法人国際学院の創設者である理事長・学院長の大野誠先生並びに創設時から理事長とともに国際学院発展のために歩んでこられた副学院長の大野敦子先生が、このたび短期大学教育制度発足60周年にあたり、多年にわたる短期大学教育への振興に特に功績があったことから文部科学大臣表彰を受賞した。

大野誠先生は敦子先生の両先生は「人間性豊かな専門職業人の育成」の必要性を説き、その目的を実現させるため、昭和38年に公認大宮料理学院を開設した。その後、現在の国際学院埼玉短期大学、国際学院高等学校、国際調理師専門学校を設置し、今日までの47年

間に亘り、国際学院の充実・発展のために心血を注いでこられた。大野誠先生は教育者・研究者(学院経営の傍ら昭和58年に日本大学医学部より医学博士の学位を取得)としての役割、委員の要職を歴任し、大野敦子先生は教育者・研究者として特に栄養士・調理師養成に力を注ぎ、さらに、副学院長として学院を支え、学院の経営面についても尽力されるなど、それぞれの立場で今日の国際学院を築いてこられた。

このたび本校は高等学校として埼玉県で初めてのユネスコスクールに認定された。私立高等学校では全国で5校目の加盟校となった。ユネスコスクールとは、ユネスコの理念である①地球規模の問題に対する国連システムの理解、②人権・民主主義の理解と促進、③異文化理解、④環境教育を実現するための学校である。これらの目標を達成するため、ユネスコスクールでは持続発展教育(ESD: Education for Sustainable Development)を通して、私たちとその子孫たちが、地球で生きていくことを困難にしているような問題について考え、解決するための学習に取り組んでいる。

具体的には水資源、ごみ問題、雇用、人権、ジェンダー、平和と人間の安全保障、HIV/AIDS、移住問題、気候変動などをテーマとして取り組んでいる。これらの諸問題は、おまかせには環境、経済、社会という3領域に相互に複雑に関連しあっている、全体的

私立短期大学協会が平成22年10月22日ホテルグランドパレス(東京都千代田区)を会場に挙行政典「日本私立短期大学協会創立60周年記念式典」で実施された。当日は高宮宮久子殿下の御臨席のもと、文部科学大臣政務官から受賞者(216名)代表の大野誠理事長・学院長に表彰状が授与され、次いで受賞者を代表して謝辞が述べられた。

この47年間の国際学院のあゆみは、まさしく大野誠先生と大野敦子先生お二人のあゆみであり、今回お二人の先生がこのような表彰を受賞したことは、国際学院に奉職する教職員はもとより、国際学院3校で学ぶ学生・生徒にとっても極めて名誉なことと言える。

今年が記録的な猛暑が続いたせい、初秋、仲秋、晩秋といった微妙な気温の変化とともに秋の深まりを感じる。今年も一年の締めくくりになる師走を迎えている。▼繊細で美しい四季の移り変わりの風情は、なにより、代わりには温かい折れ線に心が傾く中、JR大宮駅の1番線やさいたま新都心駅の2番線など、京浜東北線の発車メロディとして清々しく鳴り響いているのが「希望(ゆめ)のまち」(作詞・福原くにこ 作曲・タケカワユキヒデ)であることを知った。さいたま市の市歌である。埼玉県の南東部に位置するさいたま市の四季の美しさと未来への希望や優しさ豊かさを謳歌した楽曲で、軽快な調べが印象に残った。▼さいたま市は、平成13年5月に3市(浦和市、大宮市、与野市)が合併し、政令指定都市となつて来年度10年を迎える。▼このさいたまの地で学校法人国際学院は、昭和38年に創設され、この12月10日で47年を迎える。「誠実・研鑽・慈愛・信頼・和睦」の建学の精神、凡事の徹底を唱えた教育方針を継ぎ、「人づくり」の教育実践し、国際社会で尊敬される人材の育成を目指している。▼この記念すべき12月10日は、世界最高峰のノーベル賞の授賞式が行われる日でもあり、文学や物理学、化学、平和等の各賞が称賛と期待の中で贈呈される。▼翻って本院においては、自らの在り様を鏡に映し、顧みて新たな一歩を踏み出す。そんな一日としたい。

説 論 三つの方針

学校教育法施行規則等の一部を改正する省令が平成22年6月15日に交付され、平成23年4月1日より施行される。これは大学などの公的な教育機関が社会に対して説明責任を果たすとともに教育の質を向上させる観点から、公表すべき情報を法令上明確にし、教育情報の一層の公表を促進することが趣旨であると述べられている。

私立大学もその公共性と役割の重要性から短期大学の教育方針や教育情報のみならず財務や経営情報を公表し透明性を図るために、本学では教育

存在意義を明らかにすることが使命である。透明性を高めることにより社会に開かれ、社会一般から幅広く短期大学教育への理解や支援を得ることが重要であるといえる。

私立大学は「建学の精神」を柱として教育の目的・目標を設定され、これらを中心として作り上げられた三つの方針「学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針、入学者受け入れの方針」を内外に示し、設定どおりの学習成果を達成しなければならぬ責任がある。そのため、本学では教育

改革推進会議を組織し、カリキュラムの見直しを継続的に行っている。カリキュラム編成の基本理念は、免許資格取得のためのミニマムエッセンスと知ることができるよう

ていることを証明することと学力の質保証を図らなければならない。「何をどのくらい学習したら何が身についたか」を第三者が客観的に評価できるようにすることが求められる。

来専門職業人(プロフェッショナル)に役立つ選択科目の設定である。また、学生が修得した学習成果を質的および量的なデータとして測定し、卒業時には「学位授与の方針」を充分満たし

果の可視化が余剰なくされてくるのである。「学習成果の可視化」には、学習成果の量的・質的データとして、卒業生の進路先における評価な

さらに、入学希望者に対する「入学者受け入れの方針」では、建学の精神、教育の方針に共感し、専門職業人(プロフェッショナル)として社

会に貢献し、自らの人格を高めるために努力を惜しまない人材の入学を期待している。これらを達成するために短大では教育課程と学生支援の充実が不可欠とされている。三つの方針に基づき学習成果の達成に向けて質の高い教育プログラムと学生支援および学習資源を十分に活用し、常に自己点検・評価を行い、質の向上を継続してPDCAサイクルを回していかなければならない。

国際学院埼玉短期大学
専攻科長 雨宮一彦

国際学院高校が ユネスコスクールに認定

このたび本校は高等学校として埼玉県で初めてのユネスコスクールに認定された。私立高等学校では全国で5校目の加盟校となった。ユネスコスクールとは、ユネスコの理念である①地球規模の問題に対する国連システムの理解、②人権・民主主義の理解と促進、③異文化理解、④環境教育を実現するための学校である。これらの目標を達成するため、ユネスコスクールでは持続発展教育(ESD: Education for Sustainable Development)を通して、私たちとその子孫たちが、地球で生きていくことを困難にしているような問題について考え、解決するための学習に取り組んでいる。

具体的には水資源、ごみ問題、雇用、人権、ジェンダー、平和と人間の安全保障、HIV/AIDS、移住問題、気候変動などをテーマとして取り組んでいる。これらの諸問題は、おまかせには環境、経済、社会という3領域に相互に複雑に関連しあっている、全体的

私立短期大学協会が平成22年10月22日ホテルグランドパレス(東京都千代田区)を会場に挙行政典「日本私立短期大学協会創立60周年記念式典」で実施された。当日は高宮宮久子殿下の御臨席のもと、文部科学大臣政務官から受賞者(216名)代表の大野誠理事長・学院長に表彰状が授与され、次いで受賞者を

代表して謝辞が述べられた。この47年間の国際学院のあゆみは、まさしく大野誠先生と大野敦子先生お二人のあゆみであり、今回お二人の先生がこのような表彰を受賞したことは、国際学院に奉職する教職員はもとより、国際学院3校で学ぶ学生・生徒にとっても極めて名誉なことと言える。

今年が記録的な猛暑が続いたせい、初秋、仲秋、晩秋といった微妙な気温の変化とともに秋の深まりを感じる。今年も一年の締めくくりになる師走を迎えている。▼繊細で美しい四季の移り変わりの風情は、なにより、代わりには温かい折れ線に心が傾く中、JR大宮駅の1番線やさいたま新都心駅の2番線など、京浜東北線の発車メロディとして清々しく鳴り響いているのが「希望(ゆめ)のまち」(作詞・福原くにこ 作曲・タケカワユキヒデ)であることを知った。さいたま市の市歌である。埼玉県の南東部に位置するさいたま市の四季の美しさと未来への希望や優しさ豊かさを謳歌した楽曲で、軽快な調べが印象に残った。▼さいたま市は、平成13年5月に3市(浦和市、大宮市、与野市)が合併し、政令指定都市となつて来年度10年を迎える。▼このさいたまの地で学校法人国際学院は、昭和38年に創設され、この12月10日で47年を迎える。「誠実・研鑽・慈愛・信頼・和睦」の建学の精神、凡事の徹底を唱えた教育方針を継ぎ、「人づくり」の教育実践し、国際社会で尊敬される人材の育成を目指している。▼この記念すべき12月10日は、世界最高峰のノーベル賞の授賞式が行われる日でもあり、文学や物理学、化学、平和等の各賞が称賛と期待の中で贈呈される。▼翻って本院においては、自らの在り様を鏡に映し、顧みて新たな一歩を踏み出す。そんな一日としたい。

海外研修

オーストラリア・カナダ



平成22年度より、短期大学の授業科目のひとつである「海外研修」はオーストラリアとカナダの二つの研修先に分かれて実施されることとなった。

オーストラリアコースは6月11日から18日まで、幼児保育学科・健康栄養学科2年生の107名の学生が、シドニーにて8日間の研修を実施した。2泊3日のホ



バンクーバーアイランド大学での演習

今年度から新設されたカナダコースには、幼児保育学科・健康栄養学科2年生の29名の学生が参加し、6月11日より26日まで16日間の研修を実施した。うち12

日間は、カナダのナナイモ市にあるバンクーバーアイランド大学 (Vancouver Island University) の語学研修とホームステイである。英語力に不安のある学生も多かったが、一人でホームステイをしたことで、主体的に研修に取り組むことにより、英語力だけでなく人間としての学生たちの成長に繋がったように思われる。こうして初年度の研修を無事に終えられた背景には、ESLクラスはもちろん、アクティビティも交えつつ熱心に指導して下さったVIUの先生方、そして学生たちを暖かく迎えてくださったホストファミリーの協力があることも忘れてはならない。



マッコーリー大学での一コマ

初年度の実施を終えて、研修をより良いものとするために、英語学習を充実させ、早い段階からの事前準備を行うことを予定している。

オーストラリア研修 健康栄養学科2年A組 吉田 絢香

6月11日〜18日の1週間、オーストラリア研修旅行に行ってきた。最も印象

に残っていることは、2泊3日のホームステイです。事前にホストファミリーに子どもが好きなことを知り、子どもが好きな私に行く前からとても楽しみでした。ホームステイ中は子どもとの遊びを通して、オーストラリアの子どもの遊びについて知ることができました。また、異文化での人との関わりを学ぶことができた

1週間という短い期間でしたが、とても貴重で思い出深い1週間になりました。

カナダ研修 権田 陽子

カナダ研修では12日間のホームステイを行いました。日本語が通じないことはとても不安でしたが、日を追うごとに英語が聞き取れるようになり、気持ちも徐々に言葉にできることが嬉しくなりました。

今回の研修で日本を離れた異国の文化に触れたことは私にとってよい経験になりました。カナダの習慣を学び、改めて日本の生活を見つめ直すことで、当たり前だと思っていたことが実は

私のホストファミリーはとてもあたたかい家族です。日本語が入り混じった解りにくい英語でも真剣に理解しようと真つぐ向き合ってくれました。そして言葉だけでなく絵や文字、ジェスチャーなども立派なコミュニケーションの一つだと気付きました。うまく言葉にできなくても、相手と真剣に向き合い、伝えようと努力することが大切であり、その情熱は必ず伝わるということを身をもって体験しました。



カナダ研修での一コマ

に積極的に参加していた。私は4班に属しており、江ノ島の名産であるしらす丼に注目し、しらすの製造工程、漁獲量、生産量、栄養価等について事前に調べていた。実際にしらす丼を口に感じただけでなく、準備が大変だったことなどを思い、一口を噛みしめることに達成感を感じた。

宿泊研修一日目はあいにくの雨天であったが、全員が集合時間の30分前には集合し、研修に向けた意気込みが伝わってくるようであった。班ごとに予定通り行動し、夕食後に宿泊先であるKKRわかみやへ向かった。二日目には雨が上がり、引き続き班ごとに予定に沿って行動し、鎌倉駅に集合後解散した。二日間、大きな事故もなく全員が研修

国内研修

鎌倉・江ノ島

健康栄養学科2年A組 吉良亜有美

平成22年6月11日から18日まで、幼児保育学科、健康栄養学科合わせて23名の学生が国内研修に参加した。昨年度の後期から、実行委員長を中心とした学生主体の組織が編成され、研修に向けた話し合いが重ねられた。宿泊研修先は、源頼朝によって開府され歴史的



宿泊ホテル前で

「鎌倉の行事とお祭りについて」と「江ノ島の名産食品について」、5班は「しらすの歴史について」であった。各班は話し合い

を重ねながら、文献やインターネットを活用し事前準備をした。

宿泊研修一日目はあいにくの雨天であったが、全員が集合時間の30分前には集合し、研修に向けた意気込みが伝わってくるようであった。班ごとに予定通り行動し、夕食後に宿泊先であるKKRわかみやへ向かった。二日目には雨が上がり、引き続き班ごとに予定に沿って行動し、鎌倉駅に集合後解散した。二日間、大きな事故もなく全員が研修

に積極的に参加していた。私は4班に属しており、江ノ島の名産であるしらす丼に注目し、しらすの製造工程、漁獲量、生産量、栄養価等について事前に調べていた。実際にしらす丼を口に感じただけでなく、準備が大変だったことなどを思い、一口を噛みしめることに達成感を感じた。

鎌倉、江ノ島それぞれに特色があり、さらなる知識を得ることができた。

国内研修の参加人数は少ないながらも、委員長を中心に、皆が団結して無事に研修を終えることができた。

今回の研修で日本を離れた異国の文化に触れたことは私にとってよい経験になりました。カナダの習慣を学び、改めて日本の生活を見つめ直すことで、当たり前だと思っていたことが実は

学年交流宿泊研修

群馬県国立赤城青少年交流の家

幼児保育学科1年生を対象とした「学年交流宿泊研修」は、平成22年9月2日(木)から3日(金)の1泊2日の日程で行われた。

会場となった群馬県国立赤城青少年交流の家へは、さいたま新都心よりバスで向かい、各クラスのバス内から研修が始まった。会場到着後、開講式、昼食を済ませ、健康・スポーツIの授業の一環であるスポーツプログラムとして、体育館ではバスケットボール・バレーボール、戸外ではドッジボールをクラス対抗で行った。暑い中であったが、大きな怪我をすることなく、スポーツに打ち込んでいた。

夕食後の学年交流会では、クラスを越えた交流が見られ、本プログラムの目的に

研修中は両日も天候に恵まれたが、30度を超える猛暑の中、体調不良者が出るのが懸念されたが、全

何より、日本を離れたこと、今までは知らなかった自分に出会えたことは、これから社会へ一歩を踏み出す自分の大きな糧となると思っています。

平成21年度 決算のご報告

主な収入の割合は学生生徒納付金68.8%、補助金19.8%、寄付金5.4%でした。

一方、主な支出の割合は人件費40.6%、教育研究経費31.3%、管理経費9.1%でした。平成21年度は、高校の学生数が増えたこともあり、学生生徒納付金収入の減収額は、2200万円程度まで抑えることが出来ました。

負債については、財務改善計画に基づき、借入金の償還が進んだため、2億9200万円減少し、総負債比率は、44.1%まで低下しました。

残念ながら、21年度も消費支差額で6600万円の支出超過(赤字)となりましたが、経費削減努力により、支出超過額を前年度比で4900万円減少させることが出来ました。

なお、財務情報の詳細については、ホームページにて公開しております。

さらに、交流会としてキャンプファイヤーを実施し、一層仲間意識が深まった様子が見られた。

入学して間もない時期に学生達自らが研修を組織運営し、協調性や責任感の大切さを理解できたこと、今後の学生生活において総合演習で培った経験が活かされることと思われる。

平成21年度 短期大学 進路状況

短期大学幼児保育学科では、就職希望者142名全員が就職し、進路決定率は100%となった。幼稚園・保育所・保育関連施設等専門職への就職が138名(97%)、一般職は4名(3%)であった。その他に本学専攻科や他大学への

健康栄養学科においても進路決定率100%を達成した。就職希望者72名中59名(82%)が公務員、病院、学校、保育所、施設、企業等の専門職として給食または食品関連企業等に決定し、13名(18%)が一般職であった。その他11名が本学専攻科へ進学した。



野外調理

野外調理ではカレーライスを作り、赤城青少年交流の家の職員の方から、「今まで一番手際がよい団体だった」とお褒めの言葉を頂くことができた。これは、学生にとって非常に励みになる言葉であった。

短期大学幼児保育学科では、就職希望者142名全員が就職し、進路決定率は100%となった。幼稚園・保育所・保育関連施設等専門職への就職が138名(97%)、一般職は4名(3%)であった。その他に本学専攻科や他大学への

健康栄養学科においても進路決定率100%を達成した。就職希望者72名中59名(82%)が公務員、病院、学校、保育所、施設、企業等の専門職として給食または食品関連企業等に決定し、13名(18%)が一般職であった。その他11名が本学専攻科へ進学した。

第11回国際学院 教育ワークショップを終えて

本年度、短大では新たに4名の先生方をお迎えしました。そこで、自己紹介を兼ねて、①専門分野・本学に着任までの経緯②4月から現在までを振り返り③学生の印象は？④今後の抱負について答えて頂きました。

今年度新入教職員

ようしくお願ひします!!

今年度、短大では新たに4名の先生方をお迎えしました。そこで、自己紹介を兼ねて、①専門分野・本学に着任までの経緯②4月から現在までを振り返り③学生の印象は？④今後の抱負について答えて頂きました。

田中章男(たなかあきお) 健康栄養学科 教授

①昭和43年に埼玉県に採用され、その後30年、研究施設で食品関係、医薬品、衛生統計、飲料水などの多岐にわたって検査や研究を行っていました。その後、平成11年に埼玉県立大学が設立され、こちらに移動し11年間一般教育関連の講義

塩原明世(しほらあきよ) 健康栄養学科 講師

①管理栄養士取得、修士取得後、大病院に勤務。結婚・出産で退職し、地域活動・健診センター非常勤栄養士を経験しました。平成12年より栄養士養成の短大にて臨床栄養学、栄養指導論、献立作成などの授業を担当し、平成17年より管

松尾瑞穂(まついみずほ) 幼児保育学科 助教

①大学・大学院時代に、幼児保育や健康、児童福祉を専門とする恩師のもと、実習、臨床栄養管理を担当し、臨床栄養学を専攻。本年度より本学で臨床栄養学実習、公衆栄養学を担当しています。

長橋望(ながはし のぞみ) 学務課入試広報 担当

①北里大学 獣医畜産学部 生物生産環境学科卒、東京風月堂、菓子工房ドゥーブルシェフ勤務
②広報の仕事と製菓実習の授業を担当させて頂いていますが、それぞれ大変勉強になります。これまで菓子製造で養った感覚を人に教えることは、ものを作る事とはまた別の難しさがあります。同時にやりがいも実感しています。

私の実習日誌 小原 諒

私は2年間で5回の実習を経験し、幼稚園、保育所、施設の現場において貴重な体験をさせて頂きました。実習中は先生方のご指導やご助言を踏まえながら、絵本の読み聞かせや援助の行い方など技術面を学ぶだけでなく、私の目指す保育士像を明確にすることができ、今ではとてもいい経験ができ、たくさんの人と関わることで自分の成長にも繋がったのでよかったです。私を支えてくださった方々、周りの人達への感謝の気持ちを忘れずにこれからも頑張りたいです。

私の実習日誌 小原 諒

私は2年間で5回の実習を経験し、幼稚園、保育所、施設の現場において貴重な体験をさせて頂きました。実習中は先生方のご指導やご助言を踏まえながら、絵本の読み聞かせや援助の行い方など技術面を学ぶだけでなく、私の目指す保育士像を明確にすることができ、今ではとてもいい経験ができ、たくさんの人と関わることで自分の成長にも繋がったのでよかったです。私を支えてくださった方々、周りの人達への感謝の気持ちを忘れずにこれからも頑張りたいです。

私の実習日誌 小原 諒

私は2年間で5回の実習を経験し、幼稚園、保育所、施設の現場において貴重な体験をさせて頂きました。実習中は先生方のご指導やご助言を踏まえながら、絵本の読み聞かせや援助の行い方など技術面を学ぶだけでなく、私の目指す保育士像を明確にすることができ、今ではとてもいい経験ができ、たくさんの人と関わることで自分の成長にも繋がったのでよかったです。私を支えてくださった方々、周りの人達への感謝の気持ちを忘れずにこれからも頑張りたいです。

私の実習日誌 小原 諒

私は2年間で5回の実習を経験し、幼稚園、保育所、施設の現場において貴重な体験をさせて頂きました。実習中は先生方のご指導やご助言を踏まえながら、絵本の読み聞かせや援助の行い方など技術面を学ぶだけでなく、私の目指す保育士像を明確にすることができ、今ではとてもいい経験ができ、たくさんの人と関わることで自分の成長にも繋がったのでよかったです。私を支えてくださった方々、周りの人達への感謝の気持ちを忘れずにこれからも頑張りたいです。

私の実習日誌 小原 諒

私は2年間で5回の実習を経験し、幼稚園、保育所、施設の現場において貴重な体験をさせて頂きました。実習中は先生方のご指導やご助言を踏まえながら、絵本の読み聞かせや援助の行い方など技術面を学ぶだけでなく、私の目指す保育士像を明確にすることができ、今ではとてもいい経験ができ、たくさんの人と関わることで自分の成長にも繋がったのでよかったです。私を支えてくださった方々、周りの人達への感謝の気持ちを忘れずにこれからも頑張りたいです。



真剣に取り組む参加者

本学では、教員の更なる教育能力向上を目的とし、平成12年度より毎年「教育ワークショップ」を開催し、FD (Faculty Development) を推進してきました。

今回は平成22年9月6日・7日、東京ガーデンパレスに於いて、1泊2日の合宿形式で行なわれ、「専門科目のテュートリアル教育」をテーマに掲げて、タスクフォースに医学教育の第一人者であり、30余年にわたる教育ワークショップの教授経験を持つ橋本信也先生(東京慈恵会医科大学客員教授、医療教育情報センター理事長)をお迎えして、実施されました。

初日は、学長・タスクフォースからの挨拶が済むと早速、KJ法についての講義があり、「国際学院の教育上の問題点」についてグループ毎にKJ法を用いて問題点の抽出・整理が行われました。続いて課題シート・テュートリアルガイド・テュートリアルの方略についての全体講義とグループ作業が繰り返され、テュートリアル教育の専門科目への導入へ理解を深めていきました。Night

Sessionでは「健康食品は摂取したほうがよい」という論点を二項対立型形式でディベートが行われました。

2日目は、「テュートリアル教育の評価」「テュートリアル教育の教員相互評価」についての学習とグループ作業が行われ、テュートリアル教育の専門科目への導入について、より一層の理解を深めることができました。

本学はすでに教養科目「人間と社会」でテュートリアル教育を導入し、大きな成果をあげていますが、今回の教育ワークショップを通して習得したさまざまな知識とスキルを活かし、専門科目にも積極的に導入したいと参加者の強い決意の声が多く聞かれた、ワークショップでありました。

私は今年の4月に学友会の会長に就任し、今までたくさんの行事に携わってきました。会長の仕事は私が思っていた以上に大変ですが、その分やりがいもあり、その仕事を通して学んだこともたくさんあり、また精神面で大きく成長できました。

私は「会長」という責任から、仕事を任せられると自分ひとりで頑張ろうとしてしまいがちですが、たくさんの仕事がある日、たくさんの力が進められないことに気づきました。しかし、誰にどう頼っていいかわからず、不安と焦りといった気持ちになってしま

学友会活動報告

学友会会長を経験して学んだこと
幼児保育学科2年 荒木郁美

私は今年の4月に学友会の会長に就任し、今までたくさんの行事に携わってきました。会長の仕事は私が思っていた以上に大変ですが、その分やりがいもあり、その仕事を通して学んだこともたくさんあり、また精神面で大きく成長できました。

私は今年の4月に学友会の会長に就任し、今までたくさんの行事に携わってきました。会長の仕事は私が思っていた以上に大変ですが、その分やりがいもあり、その仕事を通して学んだこともたくさんあり、また精神面で大きく成長できました。

私は今年の4月に学友会の会長に就任し、今までたくさんの行事に携わってきました。会長の仕事は私が思っていた以上に大変ですが、その分やりがいもあり、その仕事を通して学んだこともたくさんあり、また精神面で大きく成長できました。

私は今年の4月に学友会の会長に就任し、今までたくさんの行事に携わってきました。会長の仕事は私が思っていた以上に大変ですが、その分やりがいもあり、その仕事を通して学んだこともたくさんあり、また精神面で大きく成長できました。



コーラス部練習風景

コーラス部代表として幼児保育学科2年 板橋那衣

私たちがコーラス部は、1年生と2年生で活動しております。主に昼休みに練習して、主に練習している曲は様々で幼児保育学科らしく童謡や流行しているJ・POPの曲、また合唱曲などを歌っています。普段、弾き歌いで練習している童謡も合唱を通して歌ってみると、また異なる仕上がり方になり、歌うことがさらに楽しくなります。そして、合唱を通して一つのものを、つくり上げることに、仲間との一体感を得ることが出来ます。また、同じ曲をつくり上げるために協調性も養うことが出来ます。

私たちがコーラス部は、1年生と2年生で活動しております。主に昼休みに練習して、主に練習している曲は様々で幼児保育学科らしく童謡や流行しているJ・POPの曲、また合唱曲などを歌っています。普段、弾き歌いで練習している童謡も合唱を通して歌ってみると、また異なる仕上がり方になり、歌うことがさらに楽しくなります。そして、合唱を通して一つのものを、つくり上げることに、仲間との一体感を得ることが出来ます。また、同じ曲をつくり上げるために協調性も養うことが出来ます。

喜びのお声もいただいております。そして、劇団四季の方々との交流のチャンスもありますので、興味を持ってくださる方は、お気軽に音楽室までお越し下さい。また、学科を越えて歌を通しての交流も行っています。健康栄養学科の方も是非いらして一緒に歌いませんか?2年間という限られた短大時代の一つの思い出としてコーラス部をお勧め致します。

喜びのお声もいただいております。そして、劇団四季の方々との交流のチャンスもありますので、興味を持ってくださる方は、お気軽に音楽室までお越し下さい。また、学科を越えて歌を通しての交流も行っています。健康栄養学科の方も是非いらして一緒に歌いませんか?2年間という限られた短大時代の一つの思い出としてコーラス部をお勧め致します。

喜びのお声もいただいております。そして、劇団四季の方々との交流のチャンスもありますので、興味を持ってくださる方は、お気軽に音楽室までお越し下さい。また、学科を越えて歌を通しての交流も行っています。健康栄養学科の方も是非いらして一緒に歌いませんか?2年間という限られた短大時代の一つの思い出としてコーラス部をお勧め致します。

喜びのお声もいただいております。そして、劇団四季の方々との交流のチャンスもありますので、興味を持ってくださる方は、お気軽に音楽室までお越し下さい。また、学科を越えて歌を通しての交流も行っています。健康栄養学科の方も是非いらして一緒に歌いませんか?2年間という限られた短大時代の一つの思い出としてコーラス部をお勧め致します。

喜びのお声もいただいております。そして、劇団四季の方々との交流のチャンスもありますので、興味を持ってくださる方は、お気軽に音楽室までお越し下さい。また、学科を越えて歌を通しての交流も行っています。健康栄養学科の方も是非いらして一緒に歌いませんか?2年間という限られた短大時代の一つの思い出としてコーラス部をお勧め致します。

鎌倉研修を通して学んだこと

国際調理師専門学校 高度技術学科2年 葛貴 裕太



鶴岡八幡宮にて

毎に鎌倉に関して調べたりして当日を迎えました。当日は班毎に鎌倉駅に集合し「鎌倉市農協連即売所」を見学しました。農家の方が採れたて野菜を即売している所で、新鮮な野菜や果物がたくさんあり、トマトを買ってその場で食べました。甘くてとても美味しかったです。コック服を着たプロの料理人のような人が買いに来ていた事が印象深かったです。

この研修で一番楽しみにしていたのは、「鉢の木」というお店での精進料理です。お昼の時間に全員が集合しお座敷を借りきっての食事会でした。今日のためにお座敷の掛け軸をわざわざ取り替えて迎えて下さった心配りには感動しました。

精進料理を頂くのは初めてで、肉や魚は一切使用せず、どのような味の料理が出てくるのかワクワクしました。昆布や鰹節のかわりに干椎茸などで出汁を取った料理は思ったよりも美味しく、体にやさしく染み渡ってくる味でした。派手な料理ではありませんが、この季節ならではの紫陽花豆腐という料理がとても華やかで、鎌倉らしさを演出している、季節感を感じました。食べ終わってから、改めて感じた事は、肉や魚を使わなくても気持ちい料理に仕上がっていることでした。また、鉢の木には私たちが先輩が勤めていて、わざわざ挨拶に来て下さり、料理人を目指す私たちに励ましてくれました。

心を込めたおもてなしがとても嬉しく、お店の方たちに感謝したいと思いました。本当にありがとうございます。

この研修での一番の発見は、事前学習の大切さです。色々な準備をしっかりすれば、充実した研修になります。学べる内容も変わってくる事を知りました。今回学んだ事を12月に実施されるヨーロッパ研修で活かしたいと思っています。

本校では規定以上の期間を実施しており、高度技術学科は2年間で約3ヶ月間、その学生の実習評価にも出れる絶好の機会となる。学校だけの理論的知識や限られた食材の実習が中心というだけでは、調理場に就職した時に通用するだけの力を備えさせることが難しい。このようなことから、本校では、個々のキャリア志向に応じた技術の習得や、即戦力となる実力と将来プロとしての職業観・使命感の醸成を図ることを目的として、毎年、校外実習を実施している。

今年度も夏期休業期間の7月20日から8月29日までの約1ヶ月半にわたり実施され、参加学生は18名であった。実習先は、県内外合わせて合計10事業所に依頼して行われ、県外では静岡・長野・山梨方面、そして都内及び県内である。

離れ県外に住み込みで働き、この校外実習を通じて本校の建学の精神・教育方針を体感し、職場の集団生活の中で、礼儀を重んじ「気配り・心配り」の大切さや「我慢すること」を学ぶ。

さらに、調理場での常識とされることや調理の専門用語、仕事をスムーズにするための段取りや調理技術の他、学校では学べない数多くの事を体験的に習得して行く。

事業所を訪問した際、普段の学校生活ではなかなか見ることができない、学生の生き生きと活気に満ちた表情を見ることが出来た。事業所の方からも高い評価も得ることができ、今後も学生指導において、素直で向上心のある質の高い調理師の育成を、緩みなく指導していかねばならないと感じた。

（主な校外実習先）
静岡県：リゾートピア熱海、ラフォーレ修善寺
山梨県：ラフォーレ山中
湖、大泉高原八ヶ岳ロイヤルホテル
長野県：エクシブ軽井沢、旧軽井沢ホテル音羽の森
東京都：八芳園
埼玉県：カフェトラットリアアズリー、パレスホテル大宮、日本料理 彩々 他

今年度も夏期休業期間の7月20日から8月29日までの約1ヶ月半にわたり実施され、参加学生は18名であった。実習先は、県内外合わせて合計10事業所に依頼して行われ、県外では静岡・長野・山梨方面、そして都内及び県内である。

離れ県外に住み込みで働き、この校外実習を通じて本校の建学の精神・教育方針を体感し、職場の集団生活の中で、礼儀を重んじ「気配り・心配り」の大切さや「我慢すること」を学ぶ。

さらに、調理場での常識とされることや調理の専門用語、仕事をスムーズにするための段取りや調理技術の他、学校では学べない数多くの事を体験的に習得して行く。

事業所を訪問した際、普段の学校生活ではなかなか見ることができない、学生の生き生きと活気に満ちた表情を見ることが出来た。事業所の方からも高い評価も得ることができ、今後も学生指導において、素直で向上心のある質の高い調理師の育成を、緩みなく指導していかねばならないと感じた。

（主な校外実習先）
静岡県：リゾートピア熱海、ラフォーレ修善寺
山梨県：ラフォーレ山中
湖、大泉高原八ヶ岳ロイヤルホテル
長野県：エクシブ軽井沢、旧軽井沢ホテル音羽の森
東京都：八芳園
埼玉県：カフェトラットリアアズリー、パレスホテル大宮、日本料理 彩々 他

その後は鎌倉散策をしました。みんなで鶴岡八幡宮に行きクラス全員の就職内定祈願をしました。そして北鎌倉まで歩いて移動しました。ちょうど紫陽花の季節で、道端にたくさん咲いてとても綺麗でした。

この研修で一番楽しみにしていたのは、「鉢の木」というお店での精進料理です。お昼の時間に全員が集合しお座敷を借りきっての食事会でした。今日のためにお座敷の掛け軸をわざわざ取り替えて迎えて下さった心配りには感動しました。

精進料理を頂くのは初めてで、肉や魚は一切使用せず、どのような味の料理が出てくるのかワクワクしました。昆布や鰹節のかわりに干椎茸などで出汁を取った料理は思ったよりも美味しく、体にやさしく染み渡ってくる味でした。派手な料理ではありませんが、この季節ならではの紫陽花豆腐という料理がとても華やかで、鎌倉らしさを演出している、季節感を感じました。食べ終わってから、改めて感じた事は、肉や魚を使わなくても気持ちい料理に仕上がっていることでした。また、鉢の木には私たちが先輩が勤めていて、わざわざ挨拶に来て下さり、料理人を目指す私たちに励ましてくれました。

心を込めたおもてなしがとても嬉しく、お店の方たちに感謝したいと思いました。本当にありがとうございます。

この研修での一番の発見は、事前学習の大切さです。色々な準備をしっかりすれば、充実した研修になります。学べる内容も変わってくる事を知りました。今回学んだ事を12月に実施されるヨーロッパ研修で活かしたいと思っています。

本校では規定以上の期間を実施しており、高度技術学科は2年間で約3ヶ月間、その学生の実習評価にも出れる絶好の機会となる。学校だけの理論的知識や限られた食材の実習が中心というだけでは、調理場に就職した時に通用するだけの力を備えさせることが難しい。このようなことから、本校では、個々のキャリア志向に応じた技術の習得や、即戦力となる実力と将来プロとしての職業観・使命感の醸成を図ることを目的として、毎年、校外実習を実施している。

今年度も夏期休業期間の7月20日から8月29日までの約1ヶ月半にわたり実施され、参加学生は18名であった。実習先は、県内外合わせて合計10事業所に依頼して行われ、県外では静岡・長野・山梨方面、そして都内及び県内である。

離れ県外に住み込みで働き、この校外実習を通じて本校の建学の精神・教育方針を体感し、職場の集団生活の中で、礼儀を重んじ「気配り・心配り」の大切さや「我慢すること」を学ぶ。

さらに、調理場での常識とされることや調理の専門用語、仕事をスムーズにするための段取りや調理技術の他、学校では学べない数多くの事を体験的に習得して行く。

事業所を訪問した際、普段の学校生活ではなかなか見ることができない、学生の生き生きと活気に満ちた表情を見ることが出来た。事業所の方からも高い評価も得ることができ、今後も学生指導において、素直で向上心のある質の高い調理師の育成を、緩みなく指導していかねばならないと感じた。

（主な校外実習先）
静岡県：リゾートピア熱海、ラフォーレ修善寺
山梨県：ラフォーレ山中
湖、大泉高原八ヶ岳ロイヤルホテル
長野県：エクシブ軽井沢、旧軽井沢ホテル音羽の森
東京都：八芳園
埼玉県：カフェトラットリアアズリー、パレスホテル大宮、日本料理 彩々 他

今年度も夏期休業期間の7月20日から8月29日までの約1ヶ月半にわたり実施され、参加学生は18名であった。実習先は、県内外合わせて合計10事業所に依頼して行われ、県外では静岡・長野・山梨方面、そして都内及び県内である。

離れ県外に住み込みで働き、この校外実習を通じて本校の建学の精神・教育方針を体感し、職場の集団生活の中で、礼儀を重んじ「気配り・心配り」の大切さや「我慢すること」を学ぶ。

さらに、調理場での常識とされることや調理の専門用語、仕事をスムーズにするための段取りや調理技術の他、学校では学べない数多くの事を体験的に習得して行く。

事業所を訪問した際、普段の学校生活ではなかなか見ることができない、学生の生き生きと活気に満ちた表情を見ることが出来た。事業所の方からも高い評価も得ることができ、今後も学生指導において、素直で向上心のある質の高い調理師の育成を、緩みなく指導していかねばならないと感じた。

（主な校外実習先）
静岡県：リゾートピア熱海、ラフォーレ修善寺
山梨県：ラフォーレ山中
湖、大泉高原八ヶ岳ロイヤルホテル
長野県：エクシブ軽井沢、旧軽井沢ホテル音羽の森
東京都：八芳園
埼玉県：カフェトラットリアアズリー、パレスホテル大宮、日本料理 彩々 他

事業所を訪問した際、普段の学校生活ではなかなか見ることができない、学生の生き生きと活気に満ちた表情を見ることが出来た。事業所の方からも高い評価も得ることができ、今後も学生指導において、素直で向上心のある質の高い調理師の育成を、緩みなく指導していかねばならないと感じた。

（主な校外実習先）
静岡県：リゾートピア熱海、ラフォーレ修善寺
山梨県：ラフォーレ山中
湖、大泉高原八ヶ岳ロイヤルホテル
長野県：エクシブ軽井沢、旧軽井沢ホテル音羽の森
東京都：八芳園
埼玉県：カフェトラットリアアズリー、パレスホテル大宮、日本料理 彩々 他

「平成22年度 夏期校外実習」 最も多忙な時期の現場を体験し、 調理技術を体得する

本校では規定以上の期間を実施しており、高度技術学科は2年間で約3ヶ月間、その学生の実習評価にも出れる絶好の機会となる。学校だけの理論的知識や限られた食材の実習が中心というだけでは、調理場に就職した時に通用するだけの力を備えさせることが難しい。このようなことから、本校では、個々のキャリア志向に応じた技術の習得や、即戦力となる実力と将来プロとしての職業観・使命感の醸成を図ることを目的として、毎年、校外実習を実施している。

今年度も夏期休業期間の7月20日から8月29日までの約1ヶ月半にわたり実施され、参加学生は18名であった。実習先は、県内外合わせて合計10事業所に依頼して行われ、県外では静岡・長野・山梨方面、そして都内及び県内である。

離れ県外に住み込みで働き、この校外実習を通じて本校の建学の精神・教育方針を体感し、職場の集団生活の中で、礼儀を重んじ「気配り・心配り」の大切さや「我慢すること」を学ぶ。

さらに、調理場での常識とされることや調理の専門用語、仕事をスムーズにするための段取りや調理技術の他、学校では学べない数多くの事を体験的に習得して行く。

事業所を訪問した際、普段の学校生活ではなかなか見ることができない、学生の生き生きと活気に満ちた表情を見ることが出来た。事業所の方からも高い評価も得ることができ、今後も学生指導において、素直で向上心のある質の高い調理師の育成を、緩みなく指導していかねばならないと感じた。

（主な校外実習先）
静岡県：リゾートピア熱海、ラフォーレ修善寺
山梨県：ラフォーレ山中
湖、大泉高原八ヶ岳ロイヤルホテル
長野県：エクシブ軽井沢、旧軽井沢ホテル音羽の森
東京都：八芳園
埼玉県：カフェトラットリアアズリー、パレスホテル大宮、日本料理 彩々 他

事業所を訪問した際、普段の学校生活ではなかなか見ることができない、学生の生き生きと活気に満ちた表情を見ることが出来た。事業所の方からも高い評価も得ることができ、今後も学生指導において、素直で向上心のある質の高い調理師の育成を、緩みなく指導していかねばならないと感じた。

（主な校外実習先）
静岡県：リゾートピア熱海、ラフォーレ修善寺
山梨県：ラフォーレ山中
湖、大泉高原八ヶ岳ロイヤルホテル
長野県：エクシブ軽井沢、旧軽井沢ホテル音羽の森
東京都：八芳園
埼玉県：カフェトラットリアアズリー、パレスホテル大宮、日本料理 彩々 他

MOF受賞者によるフランス料理講習会



フランス料理講習会実習風景

今年度のフランス料理講習会は、7月8日に国際調理師専門学校・国際学院埼玉エール・カバレロ先生。カバレロ先生は1993年にM・O・F（フランス国家最優秀職人章）を受賞したフランスでもトップクラスの調理技術の持ち主である。さらに、カバレロ先生は日本語が堪能であり、通訳なしで実習を行って下さる数少ないトップシェフである。

参加者は調理師専門学校生、短期大学専攻科健康栄養専攻2年生、健康栄養学科調理師専攻1年生、高等学校は、調理師専門学校では保護者や近隣の方々など地域に密着した催しとなっている。

今年度の講習会の内容は、『マリネサーモンの低温ロースト』・『鶏のロースト、フォアグラのフールシ』・『2色のパンナコッタ、クリスティアン添え』の3品であった。各校とも、午前はデモンストレーション、午後は調理実習を実施した。

デモンストレーションでは、一つの皿の中に、基本的な技術や独創的な盛り付けのアイデアなど、さまざまな経験が一緒に盛り込まれていて、参加者は、そのひとつひとつの熟練した調理技術や様々な経験に基づいた豊富な話題、料理に対する情熱に何度も驚かされた。

講習の中で先生は、「料理に国境はない。料理は自由である。」と語ってくれた。今回の料理も魚料理にわけ、肉料理にチンゲン菜、など普段は使わないような食材をフランス料理の中で活かす、自国以外の食材に関する精通している部分を見せてくれた。料理の世界で頂点を極めた人からそうした料理を間近に見ることは、これから料理を学んでいく学生に対して、調理をする楽しさや、

料理の無限の可能性を感じさせてくれるものであった。また、「これからは自分の国の料理を大切にしていかなければならない。日本料理を存分に勉強し、日本料理の素晴らしさを世界に広めて欲しい。」と、日本料理に対する理解も示してくれた。

今回の講習で学んだ知識や様々な経験は、学生の心に強く刻まれ、今後の学校生活での励みになるとともに将来の糧となるに違いない。

料理の無限の可能性を感じさせてくれるものであった。また、「これからは自分の国の料理を大切にしていかなければならない。日本料理を存分に勉強し、日本料理の素晴らしさを世界に広めて欲しい。」と、日本料理に対する理解も示してくれた。

今回の講習で学んだ知識や様々な経験は、学生の心に強く刻まれ、今後の学校生活での励みになるとともに将来の糧となるに違いない。

「季節の果物を使ったクレープ」開催

今年度も夏期休業期間の7月20日から8月29日までの約1ヶ月半にわたり実施され、参加学生は18名であった。実習先は、県内外合わせて合計10事業所に依頼して行われ、県外では静岡・長野・山梨方面、そして都内及び県内である。

離れ県外に住み込みで働き、この校外実習を通じて本校の建学の精神・教育方針を体感し、職場の集団生活の中で、礼儀を重んじ「気配り・心配り」の大切さや「我慢すること」を学ぶ。

さらに、調理場での常識とされることや調理の専門用語、仕事をスムーズにするための段取りや調理技術の他、学校では学べない数多くの事を体験的に習得して行く。

事業所を訪問した際、普段の学校生活ではなかなか見ることができない、学生の生き生きと活気に満ちた表情を見ることが出来た。事業所の方からも高い評価も得ることができ、今後も学生指導において、素直で向上心のある質の高い調理師の育成を、緩みなく指導していかねばならないと感じた。

（主な校外実習先）
静岡県：リゾートピア熱海、ラフォーレ修善寺
山梨県：ラフォーレ山中
湖、大泉高原八ヶ岳ロイヤルホテル
長野県：エクシブ軽井沢、旧軽井沢ホテル音羽の森
東京都：八芳園
埼玉県：カフェトラットリアアズリー、パレスホテル大宮、日本料理 彩々 他

今年度も夏期休業期間の7月20日から8月29日までの約1ヶ月半にわたり実施され、参加学生は18名であった。実習先は、県内外合わせて合計10事業所に依頼して行われ、県外では静岡・長野・山梨方面、そして都内及び県内である。

離れ県外に住み込みで働き、この校外実習を通じて本校の建学の精神・教育方針を体感し、職場の集団生活の中で、礼儀を重んじ「気配り・心配り」の大切さや「我慢すること」を学ぶ。

さらに、調理場での常識とされることや調理の専門用語、仕事をスムーズにするための段取りや調理技術の他、学校では学べない数多くの事を体験的に習得して行く。

事業所を訪問した際、普段の学校生活ではなかなか見ることができない、学生の生き生きと活気に満ちた表情を見ることが出来た。事業所の方からも高い評価も得ることができ、今後も学生指導において、素直で向上心のある質の高い調理師の育成を、緩みなく指導していかねばならないと感じた。

（主な校外実習先）
静岡県：リゾートピア熱海、ラフォーレ修善寺
山梨県：ラフォーレ山中
湖、大泉高原八ヶ岳ロイヤルホテル
長野県：エクシブ軽井沢、旧軽井沢ホテル音羽の森
東京都：八芳園
埼玉県：カフェトラットリアアズリー、パレスホテル大宮、日本料理 彩々 他

帝国ホテルに就職内定

調理師高度技術学科 2年 齋藤祐輔

力です。この学校は、自分が学んだ技術や知識を、社会で活かすことが出来る場所です。就職先で困らないように先輩たちと触れ合ったり、その場の空気を読む事を心掛けていきます。

質問⑥ 後輩の皆さんへ
答え これが最後の学生生活になる人がほとんどだと思います。だからこそ技術と知識を身に付けるために努力して下さい。それと同時に精一杯、最後の学生生活を楽しんで欲しいです。その中で決めたことをしっかりとやり、けじめをつけたり、社会人になれると思います。何度か言いますがこの学校は、自分が学んだ技術や知識を、社会で活かすことが出来る場所です。就職先で困らないように先輩たちと触れ合ったり、その場の空気を読む事を心掛けていきます。

在籍生進路活動インタビュー

質問① 調理師を目指したきっかけは？
答え 焼肉屋でアルバイトをしていて、お客様に料理を作るのがとても楽しく思えたからです。きっかけは単純で安易な考えでした。

質問② 西洋料理を選んだ理由は？
答え 感覚的に西洋料理がオシャレでかっこいいと思ったからです。

質問③ 今までの学校生活を振り返って
答え 礼儀や規則など、社会人として当たり前にすべきことを妥協せず指導してくれるので、素直に学校生活を送れば人間的に立派に成長できるすごい学校だと思います。

質問④ 就職試験で大変だったことは？
答え 大変だったのは全力でサポートしてくれた先生達だと思えます。就職試験という目標に向けて万全に準備してくれました。面接練習や技術練習をたくさんしてもらったことをしっかりとやり、けじめをつけたり、社会人になれると思います。何度か言いますがこの学校は、自分が学んだ技術や知識を、社会で活かすことが出来る場所です。就職先で困らないように先輩たちと触れ合ったり、その場の空気を読む事を心掛けていきます。

力です。この学校は、自分が学んだ技術や知識を、社会で活かすことが出来る場所です。就職先で困らないように先輩たちと触れ合ったり、その場の空気を読む事を心掛けていきます。

質問⑥ 後輩の皆さんへ
答え これが最後の学生生活になる人がほとんどだと思います。だからこそ技術と知識を身に付けるために努力して下さい。それと同時に精一杯、最後の学生生活を楽しんで欲しいです。その中で決めたことをしっかりとやり、けじめをつけたり、社会人になれると思います。何度か言いますがこの学校は、自分が学んだ技術や知識を、社会で活かすことが出来る場所です。就職先で困らないように先輩たちと触れ合ったり、その場の空気を読む事を心掛けていきます。

デモンストレーションの一幕

今年度も夏期休業期間の7月20日から8月29日までの約1ヶ月半にわたり実施され、参加学生は18名であった。実習先は、県内外合わせて合計10事業所に依頼して行われ、県外では静岡・長野・山梨方面、そして都内及び県内である。

離れ県外に住み込みで働き、この校外実習を通じて本校の建学の精神・教育方針を体感し、職場の集団生活の中で、礼儀を重んじ「気配り・心配り」の大切さや「我慢すること」を学ぶ。

さらに、調理場での常識とされることや調理の専門用語、仕事をスムーズにするための段取りや調理技術の他、学校では学べない数多くの事を体験的に習得して行く。

事業所を訪問した際、普段の学校生活ではなかなか見ることができない、学生の生き生きと活気に満ちた表情を見ることが出来た。事業所の方からも高い評価も得ることができ、今後も学生指導において、素直で向上心のある質の高い調理師の育成を、緩みなく指導していかねばならないと感じた。

（主な校外実習先）
静岡県：リゾートピア熱海、ラフォーレ修善寺
山梨県：ラフォーレ山中
湖、大泉高原八ヶ岳ロイヤルホテル
長野県：エクシブ軽井沢、旧軽井沢ホテル音羽の森
東京都：八芳園
埼玉県：カフェトラットリアアズリー、パレスホテル大宮、日本料理 彩々 他

陸上競技部インターハイ出場



女子陸上競技部員

陸上競技部は今年度、大きく飛躍することができた。特筆すべきは夏の沖縄インターハイ出場。女子100mの齊藤理絵(2年D組)、女子400mハードルのベンジャバラ美菜(2年B組)が県大会、関東大会を勝ち進み、創部以来目標としてきた全国大会出場を達成できたことは大きな自信となった。また、10月に開催された関東選抜大会ではベンジャバラ美菜が女子400mハードルで優勝し、女子1600mリレーは穂山友加里(2年B組)、伊澤麻梨亜(2年B組)、齊藤理絵、ベンジャバラ美菜のオーダーで6位入賞を果たした。ベンジャバラは大幅に自己記録を更新し、全国トップクラスの記録を出すことができた。この結果から、県だけではなく関東・全国でもトップレベルの力を証明することができた。また、齊藤理絵、ベンジャバラ美菜、穂山友加里、西澤拓也(1年A組)の4名が県の強化指定選手に選出された。

一方、女子陸上競技部員の多くは、大会での好成績だけではなく、学校生活においても皆勤であり、成績優良者となっている。様々な立場の方々から本校生徒のマナーの良さ、礼儀正しさについてお褒めの言葉をいただき、生徒一人ひとりが競技者として、人間として成長していることを実感することができた。来年の目標は「全国の頂点」。陸上競技は全国に約10万人の高校生競技者がいる。その頂点に立つことは簡単なことではないが、目的・目標を明確にし、1日1日を大切に過ごすことができれば達成できると考えている。現在、部員達はこの目標を本気で達成するために厳しい冬季練習に取り組んでいる。チームに妥協を許さず雰囲気はなくなってきた。現状に満足することなく、更なる飛躍を目指す「勇往邁進」という部訓の通り、国際学院高等学校陸上競技部は進化していきたいと思う。

五峯祭

第13回 五峯祭が盛況の内にフィナーレ

「Save the earth」地球を守ろうのテーマのもと、実行委員・生徒会を中心に「エコキャップ運動」を全校挙げて展開するなど、「環境問題」を強く意識したものとなった。装飾等もシンプルさが追求され、その中でも全学年、各クラスとも熱心に準備を行った。

「エコキャップ運動」は、実行委員長が保護者にも協力を呼びかける文書を作成し、短期大学の教職員の方々からたくさんの協力を得られるなど成功に導くことができた。

最優秀賞には、3年E組「夢幻写真館」が選ばれ、さすが最上級学年と思わせる内容・装飾であった。その他の展示も工夫を凝らしたものが多く、優秀賞として2年H組「アロマキャンドル」香りを楽しもうと1年A組「未来を拓くエゴ活動」の2つが選ばれた。

秋晴れの9月19日(日)、20日(月)の両日、高校の第13回「五峯祭」が挙行政された。例年の土曜日・日曜日の開催と異なり、今年度は日曜日・祝日と開催日程を変更しての実施であった。

生徒一人ひとりの「情熱」が通じたかのように、例年以上に多くの来場者を迎え盛況の内にフィナーレとなった。

本校の五峯祭は開学以来、日頃の学習成果を発表する場である。1年生諸君は、本校の文化祭がどのようなものであるか学びながらの参加となった。今年度は

語学研修を通じて

平成22年10月13日から27日まで、第2学年の47名の生徒が、引率教員も含めて全35家庭にホームステイをしながら、カナダのナナイモにあるバンクーバーアイランド大学(Vancouver Island University)にて、2週間の語学研修を実施した。

この研修ではホームステイと大学のESL(English as a Second Language)クラスが研修日程の大半を占めることとなる。ほとんどの生徒にとっては何もかもが初めてであり、ホームステイやESLクラスに不安を抱えながらも積極的に取り組んでいた。第一学年次より積み重ねてきた事前学習の成果が発揮された形となった。

生徒たちは、日本でのクラスとは関係なく、英語の実力に基づいたクラス編成が行われ、3つのクラスに分けられた。聴くことを中心に行われたテストでは、本校の特別選抜に所属する生徒も下位のクラスに入るものもあり、初日から自信

をなくした生徒も数名見られたが、与えられた環境の中で必死に勉強し、努力している姿が特に目付いた。普段はおとなしく、あまり発言をしない生徒も大きな声で英語を話したり、生徒一人ひとりにとって、カナダで受けた授業は、大きな変化をもたらしてくれた貴重な体験となっただろう。日本語が通じないという状況下で、何とか言いたいことを伝えようと工夫をしたという経験は、まさに海外でしか体験

できないことである。また、クラス・男女の枠を超えて授業終了後も大学に残り、パーティーに向けた練習を行い、日々グループの結束が固まり、大きな成果を上げることができた。

しかし一方で忘れてはならないのは、ホストファミリーやV.I.Uの先生方の惜しみない協力の数々である。ESLクラスの小学校訪問・博物館見学など、そして、今年度初めて行った先住民の方の講話といった練習に練った授業計画があったからこそ、生徒はここまで成長できたのである。そしてホストファミリーの

もてなしがあったからこそ、私たちがナナイモでの生活を無事に送ることができたのだ、ということをお忘れはならない。

今年度5度目となった語学研修であるが、やはりまだまだ課題は山積みしている。1つ1つのプログラムで滞ることができるのは10日間余りなので、急激な英語力の向上は望むことはできない。しかし、その中でいかに積極的に生活し、前向きに臨むかと言うことが最重要

部活動についても、射撃部は恒例の射撃体験を行った。サッカー部は本郷高等学校と、女子バレーボール部は茨城県日立第二高等学校を招待して、それぞれに試合を行った。吹奏楽部は両日ともに体育館で本格的な演奏を披露し、観客に素晴らしい音色を奏でた。調理研究同好会の水彫刻は、今年も「美」と「涼」を提供するものとなった。

調理師専攻による模擬店は毎年人気があり、今年も早い時間から完売の品物が出るなど活気があった。保護者会も、食品トレイを使用した壁掛けの手作り体験や恒例のパザールが催され大好評であった。また、伊奈町備前太鼓公演は例年同様、

五峯祭に花を添え、もはや欠かすことのできないものとなっている。

来年も本校の良き伝統を引き継ぎ、更に充実・発展していくことを期待する。

国際学院高等学校通信制課程 大宮学習センターの開設(認可申請中)

国際学院高等学校通信制課程が2002年4月に開設されて9年になる。本校では1年次に本校認定科目の「人生と社会」を学び、3年次の「卒業研究」では自分で決めたテーマをもとに研究を行う。人としてあるべき姿について考え、将来の進路を見据えた学習を進めていくなかで、生徒の目が徐々に輝きを増しているのを感じる。

また、本校では野外活動に独自性を持たせている。本年度は新潟県の奥阿賀にて農山村生活体験学習を実施した。農山村の民家に宿泊して家事や農作業の手伝いをしながら3日間を過ごした。3名から4名の班を編成し、班毎に活動する。農作物の収穫、草刈り、薪割り、食事づくりなど、農家の方と生活を共にしながら、暖かい民家の方との交流や自然とのふれあいを通じて、生徒たちは得がたい経験をしたようである。帰りの際の別れを惜しむ生徒と民家の方々の姿が充実した体験学習を物語っていた。

開設10年目にあたる本年度、大宮学習センターを開

進学 合宿

進路指導部では、放課後講習や長期休業中の講習など生徒の希望進路実現のために様々な取り組みを行っている。この2年間は連続して国公立大学の合格者を出すことができ、さらに進学実績を向上していきたいと考えている。毎年恒例の行事となった夏季に行われる進学合宿は、仲間と切磋琢磨しながら、学力の向上を目指すもので、大きな成果を上げている。

場所は、立正大学熊谷キャンパスで、緑豊かなとて

も恵まれた環境の中で行われた。日程は8月6日より8月9日までの3泊4日の日程で、第1学年31名、第2学年20名、第3学年19名の計70名の生徒たちが参加した。

今回の合宿で印象的だったのは、1年生、2年生が休憩時間などに積極的に参考書などを開いて勉強する姿が見られたことだ。3年生では間近に迫った入試に向けて、当たり前のように見られる姿であるが、低学年でこのような生徒が数多く見られたのは例年になかった。毎年実施する中で、先輩の後ろ姿を見てきた結果ではないかと思う。実施後の感想では、1年生は始めての経験ということもあって、「期間が長い」と感じると充実したものにしていき



熱心に勉強する生徒

3年生では「期間は適当であった」と答える生徒が多かった。やはり真剣に勉強に取り組み3年生の姿勢は頼もしく、下級生によい影響を与えていた。

「一流の進学校」に成長するために、今夏の合宿の反省を踏まえて来年はもっと充実したものにしていき

味彩コンテスト

埼玉県産食材を用いた 171作品から選出

平成22年9月11日(土) 本学主催の「第18回味彩コンテスト」第2次料理試作審査が実施された。応募総数171点の中から、第1次審査を通過した15点のアイデア料理の献立審査が行われた。

今年度の応募内容は、埼玉県の特産品である①黒豚②牛乳③野菜のいずれかを使用し、手軽で簡単にできるスピード料理を材料費500円以内、調理時間30分以内で作成できるメニューを課題とした。

今回もレベルの高い料理が多く出品され、年ごとに盛大になっていることを感じさせる内容でした。

また、今年も第21回埼玉県芸術文化祭協賛事業として、さいたま市、NHKさいたま放送局、埼玉新聞社、テレビ埼玉、全国農業協同組合連合会埼玉県本部からの後援と、10団体の協賛のもとで実施された。

厳正な審査の結果、学長賞には小山ゆかりさんの作品「黒豚肉の南蛮味*彩野菜添え*」が選出された。

この作品は、豚肉に片栗粉を付けて揚げ、カボチャ、ナスなどの野菜も素揚げをしてから南蛮タレに漬けてからトマトと青菜をあしらって彩り良く盛り付けたものである。審査員からは「彩りが素晴らしい、栄養のバランスについても野菜を多く使っていてボリューム感を出したヘルシー料理で、塩分にも配慮がな

されているとの講評を得ていました。

次に、埼玉県知事賞は岡島紗江さんの作品「埼玉臭い(マシタ・美味しいバーガー)」が選ばれた。マフィンをご飯で形を作りフライパンで焼いて肉・野菜をサンドしたものでコチュジャンの利いたピリ辛の味で韓国料理が初めて入選した作品である。今後もグローバル化される中において、世界の広がりを感じさせるメニューであった。

今回の味彩コンテストの模様はテレビ埼玉(10月23日午後4時30分〜5時30分)に放映され紹介された。

また、学長賞受賞作品は、五峯祭の当日に給食管理研究班レストラン彩り亭のメニューとして、多くの来場者に食べていただ



試食審査の風景

味彩コンテスト入賞の感想①

健康栄養学科2年B組 宮井優香

今回の「味彩コンテスト」では、審査委員長賞を受賞する事ができました。去年のコンテストでは、一次審査すら通過することができなかったため、今回賞をいただいた時はとても嬉しかったです。茶碗蒸しをアレンジし、温(On the)や彩!玉子蒸し、を作りました。タイトルの由来は、茶碗蒸しの上に野菜をのせているという意味、そして「野菜」と「埼玉」をかけています。

最近では個食(孤食)・共働きの家庭が増え、料理をする



「第25回 幼児絵画展」702点の応募

幼児絵画展は、11月7日(土)8日(日)に開催された本学の大学祭である「五峯祭」と同時開催され、おだやかな気候に恵まれ、例年同様大勢の出品者・鑑賞者の来場を得て盛況に開催された。この幼児絵画展は昭和61年発足以来25回を重ね、埼玉県内の幼稚園や保育園に通っている3歳から5歳までの子どもを対象にした展覧会である。今回は、75園・所から702点の応募が寄せられた。

今年度は審査委員長が変更され、これまでの日本画家

幼児絵画展委員会委員長を務めて

幼児絵画展学生委員長 幼児保育学科1年 並木彩純



今回、幼児絵画展委員会委員長という役割を務め、委員会を中心に自覚と責任を持って一生懸命に取り組まれました。学生それぞれがクラス活動や自主的活動で忙しい中での作業を通して、お互いが力

員長を中心として、学外の方や、鑑賞者の来場を得て盛況に開催された。この幼児絵画展は昭和61年発足以来25回を重ね、埼玉県内の幼稚園や保育園に通っている3歳から5歳までの子どもを対象にした展覧会である。今回は、75園・所から702点の応募が寄せられた。

今年度は審査委員長が変更され、これまでの日本画家

を合わせて確認しました。また、多くの子どもたちの絵を見て、豊かな想像力と表現力を感じることもでき、一人ひとりの子どもたちに、それぞれ違った世界があることを実感しました。

表彰式では、賞状を受けるときの子どもたちの笑顔がとても印象に残っています。子どもたちの笑顔は、私たちにとても大きな励みとなり、自然と笑顔になることができました。達成感や喜びが溢れた笑顔を見るのができ、貴重な経験となりました。私にとってこの幼児絵画展は、とても重要な体験であり、最高の思い出となりました。

味彩コンテスト入賞の感想②

健康栄養学科1年B組 地神菜

来ませんでした。しかし、試食する際に他の参加者か

ら「美味しいよ」と言われ、盛りつけがうまくいかなかったことも気にならなくなりました。コンテストの結果発表では、最優秀賞に選ばれた作品は、料理そのものでなく、料理を引き立てる工夫にもこだわっていました。料理を食べる人が気持ちを考えて作品としての出来上がりに、感動しました。私はそこまで考えていませんでしたが、食べる人のことを考えた工夫をすることで、随分と見た目が変わるのだということに気づきました。

今回の味彩コンテストでは、私にとってプラスになることが沢山あり、来年も「今年以上のものを応募できれば!」と意欲を持たせてくれるコンテストになりました。



五峯祭報告

『五峯祭～人づくりを科学する
未来に届け みんなの笑顔-SMILE 2010-』



正門アーチ

された。レジャー的な学園祭が多く見られる中、本学の五峯祭は教育・研究の発表の場となっており、平成16年度から2年間、学生の「自立創造力育成プログラム」として、文部科学省による「特色ある大学教育支援プログラム」に採択され、この大学のモデルとして認められ、多くの大学関係者や文化祭実行委員の学生が開催期間中に見学に訪れるなど、全国的にも類を見ない学園祭として注目を浴びて

いる。開会式では、学長より全学生に対し、「冷暖自知」という言葉が示すようにこの五峯祭が貴重な体験の場であり、その体験を通して自分の専門力を高め、さらに人間力を磨いてほしいとの話をされた後、学院長から五峯祭テーマ、ポスター、プログラム、アーチの入賞者に対する表彰が行われた。そして、最後にオーピングセレモニーとして人気海外ドラマGLEE（グリー）にヒントを得て作成された、若者たちが数々の困難を乗り越え努力する姿を「建学の精神」に因りつづけた劇とダンスパフォーマンスが披露され、さらに学院長、学生委員長によってクス玉が割られ、その場の雰囲気が大いに盛り上げ、大歓声の後、開会式を閉じた。

また、学長賞（最優秀賞）に選ばれた作品は、開催期間中「彩り亭」で、秋を彩る手作りの味、として一般の来場者にも提供された。屋外会場では専門学校による模擬店が数多く開かれ、日頃の授業で磨いた腕前を如何なく披露し、来場者の方々も大満足の様子であった。

また、学長賞（最優秀賞）に選ばれた作品は、開催期間中「彩り亭」で、秋を彩る手作りの味、として一般の来場者にも提供された。屋外会場では専門学校による模擬店が数多く開かれ、日頃の授業で磨いた腕前を如何なく披露し、来場者の方々も大満足の様子であった。

また、学長賞（最優秀賞）に選ばれた作品は、開催期間中「彩り亭」で、秋を彩る手作りの味、として一般の来場者にも提供された。屋外会場では専門学校による模擬店が数多く開かれ、日頃の授業で磨いた腕前を如何なく披露し、来場者の方々も大満足の様子であった。

また、学長賞（最優秀賞）に選ばれた作品は、開催期間中「彩り亭」で、秋を彩る手作りの味、として一般の来場者にも提供された。屋外会場では専門学校による模擬店が数多く開かれ、日頃の授業で磨いた腕前を如何なく披露し、来場者の方々も大満足の様子であった。

また、学長賞（最優秀賞）に選ばれた作品は、開催期間中「彩り亭」で、秋を彩る手作りの味、として一般の来場者にも提供された。屋外会場では専門学校による模擬店が数多く開かれ、日頃の授業で磨いた腕前を如何なく披露し、来場者の方々も大満足の様子であった。

国際学院三大行事の一つ五峯祭（いつみねさい）が平成22年11月6日、7日の両日短期大学と専門学校合同で開催された。

本年度のテーマは「人づくりを科学する 未来に届け みんなの笑顔-SMILE 2010-」である。このテーマは全学生が参加

し、クラス毎に多数の応募があつた中から決まったものである。

五峯祭のネーミングは本学の建学の精神である「誠実」「研鑽」「慈愛」「信頼」「和睦」を天高くそびえる五つの峯に例えて名づけられたもので、多数の一般公募の中から選ばれ決定

し、文部科学省による「特色ある大学教育支援プログラム」に採択され、この大学のモデルとして認められ、多くの大学関係者や文化祭実行委員の学生が開催期間中に見学に訪れるなど、全国的にも類を見ない学園祭として注目を浴びて

いる。開会式では、学長より全学生に対し、「冷暖自知」という言葉が示すようにこの五峯祭が貴重な体験の場であり、その体験を通して自分の専門力を高め、さらに人間力を磨いてほしいとの話をされた後、学院長から五峯祭テーマ、ポスター、プログラム、アーチの入賞者に対する表彰が行われた。そして、最後にオーピングセレモニーとして人気海外ドラマGLEE（グリー）にヒントを得て作成された、若者たちが数々の困難を乗り越え努力する姿を「建学の精神」に因りつづけた劇とダンスパフォーマンスが披露され、さらに学院長、学生委員長によってクス玉が割られ、その場の雰囲気が大いに盛り上げ、大歓声の後、開会式を閉じた。

また、学長賞（最優秀賞）に選ばれた作品は、開催期間中「彩り亭」で、秋を彩る手作りの味、として一般の来場者にも提供された。屋外会場では専門学校による模擬店が数多く開かれ、日頃の授業で磨いた腕前を如何なく披露し、来場者の方々も大満足の様子であった。

また、学長賞（最優秀賞）に選ばれた作品は、開催期間中「彩り亭」で、秋を彩る手作りの味、として一般の来場者にも提供された。屋外会場では専門学校による模擬店が数多く開かれ、日頃の授業で磨いた腕前を如何なく披露し、来場者の方々も大満足の様子であった。

また、学長賞（最優秀賞）に選ばれた作品は、開催期間中「彩り亭」で、秋を彩る手作りの味、として一般の来場者にも提供された。屋外会場では専門学校による模擬店が数多く開かれ、日頃の授業で磨いた腕前を如何なく披露し、来場者の方々も大満足の様子であった。

また、学長賞（最優秀賞）に選ばれた作品は、開催期間中「彩り亭」で、秋を彩る手作りの味、として一般の来場者にも提供された。屋外会場では専門学校による模擬店が数多く開かれ、日頃の授業で磨いた腕前を如何なく披露し、来場者の方々も大満足の様子であった。

オリエンテーション宿泊研修報告 初年度宿泊研修



全体研修風景

平成22年4月15日から16日にかけて、軽井沢プリンスホテルにおいてオリエンテーション宿泊研修が実施された。参加したのは、短期大学新入生、専攻科全学生および短期大学2年生のリーダー学生であった。

オリエンテーション委員が選出され、宿泊研修中クラスをまとめる役割を担った。オリエンテーション委員は、4月当初より学生を中心として組織作り・準備が急ピッチで進められた。リーダー学生は、自分たちが行うべき役割の確認と宿泊研修中のルール作りや守るべきマナーの確認を行った。また、新入生ならびに専攻科からは

オリエンテーション委員が選出され、宿泊研修中クラスをまとめる役割を担った。オリエンテーション委員は、4月当初より学生を中心として組織作り・準備が急ピッチで進められた。リーダー学生は、自分たちが行うべき役割の確認と宿泊研修中のルール作りや守るべきマナーの確認を行った。また、新入生ならびに専攻科からは

オリエンテーション委員が選出され、宿泊研修中クラスをまとめる役割を担った。オリエンテーション委員は、4月当初より学生を中心として組織作り・準備が急ピッチで進められた。リーダー学生は、自分たちが行うべき役割の確認と宿泊研修中のルール作りや守るべきマナーの確認を行った。また、新入生ならびに専攻科からは

オリエンテーション委員が選出され、宿泊研修中クラスをまとめる役割を担った。オリエンテーション委員は、4月当初より学生を中心として組織作り・準備が急ピッチで進められた。リーダー学生は、自分たちが行うべき役割の確認と宿泊研修中のルール作りや守るべきマナーの確認を行った。また、新入生ならびに専攻科からは

オリエンテーション委員が選出され、宿泊研修中クラスをまとめる役割を担った。オリエンテーション委員は、4月当初より学生を中心として組織作り・準備が急ピッチで進められた。リーダー学生は、自分たちが行うべき役割の確認と宿泊研修中のルール作りや守るべきマナーの確認を行った。また、新入生ならびに専攻科からは

オリエンテーション委員が選出され、宿泊研修中クラスをまとめる役割を担った。オリエンテーション委員は、4月当初より学生を中心として組織作り・準備が急ピッチで進められた。リーダー学生は、自分たちが行うべき役割の確認と宿泊研修中のルール作りや守るべきマナーの確認を行った。また、新入生ならびに専攻科からは

オリエンテーション委員が選出され、宿泊研修中クラスをまとめる役割を担った。オリエンテーション委員は、4月当初より学生を中心として組織作り・準備が急ピッチで進められた。リーダー学生は、自分たちが行うべき役割の確認と宿泊研修中のルール作りや守るべきマナーの確認を行った。また、新入生ならびに専攻科からは

オリエンテーション委員が選出され、宿泊研修中クラスをまとめる役割を担った。オリエンテーション委員は、4月当初より学生を中心として組織作り・準備が急ピッチで進められた。リーダー学生は、自分たちが行うべき役割の確認と宿泊研修中のルール作りや守るべきマナーの確認を行った。また、新入生ならびに専攻科からは

オリエンテーション委員長を体験して①

健康栄養学科1年 坂巻菜穂

私は軽井沢研修を通して、本学の学生としての姿勢を学ぶとともに、様々なプログラムを通してクラス内での交流を深めることができた様子だった。

オリエンテーション委員長を体験して②

健康栄養学科1年 藤崎さゆり

私は4月に行われた軽井沢研修でオリエンテーション委員会の副委員長、幼児保育学科1年生の代表学生として研修に参加しました。代表学生としての役割は、おもに点呼確認や研修中での注意事項、活動計画

健康栄養学科の取り組みについて

専攻健康栄養専攻2年 辻 美咲

五峯祭にむけて健康栄養学科では、日ごろの学習成果を発表するため研究班ごとに来場して下さったお客様に分かりやすく理解していただけるように媒体作成を心がけ、おいしく食事を食べていただけるように何回も試作を行い準備を進めてきました。準備期間の前から準備を始める研究班や、誰もが真剣に取り組む姿がゆえに互いの意見がすりあわせたおかげで、準備がスムーズに進みました。研修で学んだことを今後の学生生活の糧にしていきたいです。

平成22年度 体育大会

「人づくりを科学する」笑顔の数だけ絆になる。を大会テーマに、今年度の体育大会は5月21日に上尾運動公園体育館で開催されました。バスケットボールのフリースローやバレーボールの円陣トス、本学の教育方針の一つでもある「清掃」にちなんで、雑巾がけリレーを新たな試みとして行いました。これら競技を行なった環境を有効に活用するといった発想から生まれたものです。また、今年度はサッカーW杯南アフリカ大会の開催年だったので、サッカーのドリブルリレーも新種目として企画しました。今年度の優勝チームは幼児保育学科1年A組、次いで準優勝は幼児保育学科2年A組で、その差はわずか5点でした。入学して間もないながらも、

「人づくりを科学する」笑顔の数だけ絆になる。を大会テーマに、今年度の体育大会は5月21日に上尾運動公園体育館で開催されました。バスケットボールのフリースローやバレーボールの円陣トス、本学の教育方針の一つでもある「清掃」にちなんで、雑巾がけリレーを新たな試みとして行いました。これら競技を行なった環境を有効に活用するといった発想から生まれたものです。また、今年度はサッカーW杯南アフリカ大会の開催年だったので、サッカーのドリブルリレーも新種目として企画しました。今年度の優勝チームは幼児保育学科1年A組、次いで準優勝は幼児保育学科2年A組で、その差はわずか5点でした。入学して間もないながらも、

優勝クラスは幼児保育学科1年A組

健康栄養学科1年 栗原和也

今年4月に入学し、初めての学校全体の大きな行事である体育大会で優勝することができ、大きな思い出となりました。体育大会前日まで、種目メンバー等についての話し合いが続き、不安でいっぱいでした。しかし、当日のクラスの雰囲気は明るく、昼休み等に作戦を練ったり、仲間を応援する姿を見ることができました。閉会式の結果発表で、2位まで呼ばれずに落ち込んでいたところ、想定外の優勝で自分たちのクラスが呼ばれ、仲間と喜びを分かち合うことができました。また来年も優勝カップに努力しなければと意気込

また、学長賞（最優秀賞）に選ばれた作品は、開催期間中「彩り亭」で、秋を彩る手作りの味、として一般の来場者にも提供された。屋外会場では専門学校による模擬店が数多く開かれ、日頃の授業で磨いた腕前を如何なく披露し、来場者の方々も大満足の様子であった。

図書館 活動から

今、世の中は知識基盤社会と言われています。そのことにより、図書館利用が学生にとって大きく必要とされている時代でもありません。本学図書館は、3万4000冊の図書を所蔵し、又、学生の方々に役に立っていただける図書を提供できるように毎年2回の増書を図っております。そして、平成22年には、両学科の特徴を生かした図書のコーナーを設置して、専門書として参考になる図書を選定し

ています。

幼児保育学科関連として、特に絵本の活用が計れることに大きく着目し、「大型絵本」を整えていくことの充実を目標としています。

現在、幼児教育の社会において「絵本の読み聞かせ運動」が盛んに要望され、幼児の小さな心に感動の感性を開く芸術性の高い絵本が求められていると言えます。本学図書館では、そのような良質の絵本の「小さな絵本」と「大きな絵本」をともにそろえ保育者になる方々へ絵本による子どもたちの夢の心を届けたいと思っています。

一方、健康栄養学科関連

としての健康栄養コーナー

におきましても、食と栄養健康に関する様々な参考図書を設置しております。その中で、本学学院長大野誠先生の『子供に大切なことは、「食卓」で学ばせたい。』という食育に関する著書は、多くの方々に論議の支持を受けている書でもあり、皆様には是非とも一読して頂きたいと、食育を学べる時代のお薦めの本の一つです。

図書館には、教員の図書委員会と学生委員による学生図書委員会が組織され、立短期大学協会の研修会に出席も、このような学生図書委員会の活動、活躍が発表されたことも本学の伝統

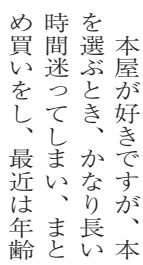
が、生と死を見つめることにより、「いのち」の大切さ、自分の生き方を考えるきっかけになってく

ベストブック

のせいか読むのを忘れ、同じ本を買ってしまうこともあります。

今回学院新聞にベストブックの紹介をとの突然のお話を頂戴し、ジャンルを問わない乱読の私は例のごとく迷ってしまいました。今年8月、ミュージカル「葉っぱのフレディ」の

「葉っぱのフレディ」のフレディのいのちの旅」



本屋が好きですが、本を選ぶとき、かなり長い時間迷ってしまい、まため買いをし、最近では年齢

た活動を行っています。

「お薦めの1冊」の展示、「お薦めの雑誌」紹介のポスト作成、書架整理などを行います。

このことは、内外に平成19年から平成20年にかけての全国図書館大会や日本私立短期大学協会の研修会に出席も、このような学生図書委員会の活動、活躍が発表されたことも本学の伝統

つぱたちはこの世から自分がいなくなってしまう予感におびえます。でも大きな葉っぱのダニエルがいいです。「世界は変化をしようとしているんだ。変化しないものはひとつもないんだよ。春が来て夏になり秋になる。葉っぱは緑から紅葉して散る。

変化すること自然なことなんだ。僕たちも変化し続けているんだ。死ぬというのも変わる一つの自然なことなんだよ。」

「大自然の設計図は、寸分の狂いもなく、いのちを変化させ続けていると願っています。」

として受け継がれているのです。

今、ここ数ヶ月を見ますと入館者と本の貸出が増加してきており、熱心に毎日図書館に勉強している学生も見られます。図書館で好きな一冊の本を見つけてみるのも勉強です。

私たちは、今後も本学の図書館が将来に渡って有用で、皆様に役立つ有用な図書を提供できるように努めます。

国際学院埼玉短期大学 附属図書館長 中村礼子 教授

がんばっています

川越ひばり幼稚園 教諭 西田 咲希さん

私は、平成17年度に本学を卒業し、幼稚園に就職してから、今年で5年目になりました。

5年間で、未就園児クラスや長組等の、様々なクラスを経験し、今は、2年度目

の年長組の担任をさせて頂いております。

振り返ってみると、あつという間の5年間で、このまま勤めてきたら、沢山の苦労もあつたと思います。

就職してからは、自分でも判断せず、園長先生や先輩の先生へ相談する機会が、とても大切だと感じています。

子ども達への対応についても、保護者の方への悩み、保育外の仕事への悩み、等、現場に出てみると、考えられない、数々の悩みに遭遇します。

相談し、アドバイスを受けることで、自分自身が成長して仕事をしていく中で、

自分だけでは解決できないことは、1年目の先生であっても、5年目の先生でも自分で言うことは、中々難しいと思います。

社会に出始めの頃は、今までの環境の違いに、ついで、逃げ出したくなってしまうこともありますが、思います。私も、仕事を始めたばかりの頃は、忙しく大変で、すぐにでも逃げ出したい気持ちで一杯でした。しかし、それを乗り越えられれば、必ず楽しさが待っています。

今は、大きな行事の担当を任せられ、責任もありませんが、毎日、子ども達と一緒に成長し、頑張っています。

My Cooking 27

「えびとじゃが芋の薄くず煮 生姜風味」

国際クッキングスクール副校長 内堀 恵子

材料/4人分	作り方
じゃがいも 2〜3コ (400g)	①じゃがいもは皮をむき、一口大に切って面取りをし、すぐに水につける。水を2〜3回替えてアクをぬいた鍋に入れ、かぶるくらいの水を注いで中火にかけ、沸騰したら約1分程ゆでる。
えび 12匹	②えびは殻をむき、背に塩・酒 少々
小松菜 3株	③鍋にAを煮立て、じゃがいもを入れて落としぶたをして煮る。じゃがいもに竹くしがスッと通るように
しょうが汁(大) 1かけ分	になったら、えびに薄く片栗粉をまぶして加える。えびの色が変わったら、小松菜を少しづつ加え、汁を加え、サッと煮て火を止める。
だし 1杯	【トッピング】
酒 大さじ3	比較的lowカロリーで、果物にも負けないほどの豊富なビタミンCと食物繊維が含まれています。
みりん 大さじ2	と、思います。
砂糖 大さじ2	
塩 少々	



えびとじゃが芋の薄くず煮 生姜風味

体にやさしい一品 丁寧な下処理で上品な味わい

丁寧な下処理で、料亭のよう



川越ひばり幼稚園 教諭 西田 咲希さん

信に繋がります。今私は、5年目と言うこともあり、相談を受け、また、指導する立場にもなりましたが、新任の先生が、はじめから何もかも自分で言うことは、中々難しいと思います。

社会に出始めの頃は、今までの環境の違いに、ついで、逃げ出したくなってしまうこともありますが、思います。私も、仕事を始めたばかりの頃は、忙しく大変で、すぐにでも逃げ出したい気持ちで一杯でした。しかし、それを乗り越えられれば、必ず楽しさが待っています。